



2026年度 第1号

(通算 第10号)

発行月 2026年6月吉日
発行部署 技術技能ラーニングセンター
技能専修学園
発行人 田辺 祥士



豊田自動織機

Link

～つなぐ佐吉翁の精神 つながる人の絆～



学園長 ご挨拶

平素は技能専修学園の取り組みにご理解ご支援を賜りまして厚く御礼申し上げます。
今年度は4月16日に入学式を行い、第45期生66名を迎え入れ、創業100周年となる
節目の学園訓練をスタートさせました。

学園スタッフ・指導員と共に、コミュニケーションと絆をベースとした豊田自動織機社員の基本と、
現場に必要な基礎技能と強い精神力を養い、豊田自動織機のこれからのモノづくりを支える
“現場の核となる人材”を目指して取り組んでまいります。

一年後には成長した姿を皆様にお見せできるよう、一層の努力をしておりますので、引き続き
暖かいご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。



学園長
田辺 祥士

第45期指導体制・学園生紹介

豊田自動織機創立100周年という節目の年に、新たに66名の若き仲間が加わりました。
指導員と学園生を紹介します。

「指導員」



運営支援
河田さん



グループ長
廣田さん



主任
山田指導員



主任
原指導員



運営総括
岩下指導員



運営
新美指導員



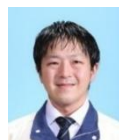
運営
木村指導員



1班担任
河井指導員



2班担任
篠原指導員



3班担任
小串指導員



4班担任
高橋指導員



5班担任
川端指導員



6班担任
荒木指導員



7班担任
畑中指導員

「学園生」

1 班	 【岡田さんの意気込み】 私はこれから一年間、仲間と支え合いながら、技能だけでなく礼儀や責任感も身に付けていきたいです。 また、学園生活では、一つ一つの学びを大切に、何事にも全力で挑戦していきます。 そして、将来は周囲から信頼される社会人になれるよう、努力を重ね、現場の核となる存在を目指します。
2 班	 【野中さんの意気込み】 私は、学園での規律ある共同生活や日々の厳しい訓練を通じて、心身ともに大きく成長したいと考えています。 慣れない環境ではありますが、志を共にする同期の仲間と互いに切磋琢磨し、助け合いながら、一歩ずつ確実に高度な技能と社会人としての知識を身に付けていく決意です。
3 班	 【指宿さんの意気込み】 私はこの一年間という限られたカリキュラムの中で、規律訓練や心身訓練、学科・実技訓練を通じて、技能や知識、 社会人としての心構えを鍛え、周囲から信頼される人材へと成長していきたいと考えています。将来は、リーダーとして 配属先で中心となり、会社に貢献できる人材を目指して仲間とともに努力していきます。

4 班	          <p>【原さんの意気込み】 私は学園生活を通して腕・知恵・心を磨き、常に向上心を持って行動していきます。また、仲間とのコミュニケーションや協力を大切に、互いに高め合える関係を築いていきたいです。心身訓練で培っていく忍耐力と精神力を生かし、今後も成長し続け、何事にも全力で取り組んでいきます。</p>
5 班	         <p>【野田さんの意気込み】 私は学園生活での訓練を通して、職場で必要なスキルや責任感、礼儀を学び、仲間と切磋琢磨していきます。そして、修了後は上司や先輩に信頼される技能者になれるよう努力し、将来は豊田自動織機を支えられるよう何事にも全力で取り組んでいきます。</p>
6 班	         <p>【金田さんの意気込み】 新しい環境で不安もありますが、多くのことを吸収し、一日も早く職場に貢献できる人材になれるよう努力していきます。分からないことも多くありますが、一つ一つ知識や技能を身に付け、着実に成長していきたいと考えています。また、同期や指導員の方々との関わりを大切に、互いに高め合いながら日々前向きに取り組んでいきます。</p>
7 班	          <p>【桐山さんの意気込み】 私は学園生活を通して、持久走や規律訓練などの大変な訓練を乗り越え、やり遂げる強い意志を身に付けるとともに、学科・実技訓練を通して新たな知識や技能を習得していきます。また、自分から積極的に行動することでリーダーとしての意識を高め、将来は現場の核となれるよう取り組んでいきます。</p>

4月～5月の主な行事

入学式(4/16)

第45期生66名を迎え、入学式を執り行いました。

当日は、学園担当役員の浅尾執行職より「修了式でどれだけ成長した皆さんの姿を見られるのが、楽しみにしています」と激励のお言葉をいただきました。あわせて、代表の永井さんより力強い誓いの言葉が述べられました。

また、44期修了生の濱島さんから中川原さんへ学園旗が引き継がれました。45期生一同、これから始まる学園生活の中で互いに切磋琢磨しながら、一年間の訓練に励む決意を新たにしました。



【奥田さん】

入学式では号令を担当させていただき、大きな緊張と責任を感じました。この経験を通して、自分の役割を果たすことの大切さを学びました。社会人としての自覚を持ち、仲間と協力しながら、これからの訓練に全力で取り組んでいきます。



【川森さん】

入学式を終え、学生気分から一歩踏み出し、社会人としての自覚が芽生えたことを実感しました。先輩が学園旗を受け渡す姿は印象的でした。これから一年、腕・知恵・心を磨き、信頼される存在を目指して努力していきます。

チームビルディング(4/21)

チーム力を鍛える最初の訓練として「チームビルディング」を実施しました。各チームで知恵を出し合い、ペーパータワーの製作に挑戦し、完成したタワーの高さを競い合いました。

建設中に倒れてしまうチームもありましたが、原因を話し合いながら構造やメンバー内での役割を見直し、改善を重ねました。

その結果、連携力や課題解決力を高めるとともに、協力することの重要性を実感する訓練となりました。



【菅野さん】

チームビルディングを通じて、限られた時間と資源の中で工夫しながら改善する力とコミュニケーション力の大切さを学びました。皆が一位を目指す中で協力しながら取り組んだ経験を活かし、今後の訓練でもより良い成果にこだわっていきます。



【南波さん】

グループディスカッション中、意見を出す人と消極的な人で分かれていましたが、司会や書記などの役割を設けることで意見が出やすくなり、話し合いが円滑に進むようになりました。一人ひとりが役割を理解し、意見をまとめる大切さを感じました。

歩行ラリー(4/24)

当社の6つの工場を巡る42.195kmの歩行ラリーを実施しました。道のりの中では苦しい場面もありましたが、チームメンバー同士で声を掛け合い支え合うことで、自然と一体感が生まれ、同期の仲間との絆をより一層深めることができました。

また、これまでに経験したことのない距離を最後まで歩き切ったことで、困難に向き合い、やり遂げる力と大きな達成感を得ることができる貴重な機会となりました。



【中道さん】

10km時点で足に疲れが始めましたが、仲間や指導員の方々の応援のおかげで歩き切ることができました。励まし合う中でチームワークも高まり、全員で完歩できたことが自信につながりました。仲間への感謝を忘れず、今後も頑張っていきます。



【畔柳さん】

歩行ラリーを通して、仲間と協力して達成することの喜びを実感しました。活動中は班で協力しながら励まし合い、時間内に全員で完歩することができました。この経験から、チームワークの大切さを学びました。

学園オリエンテーリング大会(5/12)

旭高原元気村にて、学園オリエンテーリング大会を開催しました。山中に設けられたチェックポイントを目指し、全員が懸命に走りながら競技に取り組みました。

中には、合流がうまくいかず、仲間同士で声を掛け合いながら探し合う場面もありましたが、その経験を通して、相手に分かりやすく伝えることの難しさや、仲間を信じて行動することの重要性を理解することができ、非常に有意義な大会となりました。



【石岡さん】

オリエンテーリング大会を通して、協力することの大切さを学びました。また、意見を出し合うことで絆が深まり、1位を取ることができました。一方で、言葉で伝える難しさも実感したため、今後は簡潔明瞭な伝え方を心掛けていきます。



【三浦さん】

オリエンテーリング大会では、本番に向けてコース確認を行い、近道やショートカットを把握しました。その際、コミュニケーションを取りながら作戦を立てる重要性を感じました。また、その過程でチームワークが高まり、仲間との距離も縮まったと感じました。

一日のスケジュール

出社（朝の挨拶）



8:00～ 規律訓練（心身訓練）



8:15～ 学科・実技訓練



12:00～ 昼食



規律訓練のコメント



【阪田さん】
規律訓練を通して、時間を守る大切さや集団行動の重要性を学ぶことができ、自分一人の行動が周囲に影響することを実感しました。また、責任感を持って行動する姿勢が身に付くとともに、仲間と協力して成果を上げる大切さを学ぶことができました。



【畑中さん】
規律訓練を通して、社会人として大切な「キビキビ」「ハキハキ」と行動する力や、現場で必要な「止める勇氣」を身に付けることができました。初めは失敗もありましたが、積極的に行動することで改善し、最後までやり抜く大切さを学びました。

学科・実技訓練のコメント



【小林さん】
製図では、最初は難しく感じましたが、繰り返し取り組む中で図面の見方や書き方、正確さと丁寧さの大切さを学びました。わからないところは周りに確認しながら理解を深めました。今後も復習を続け、より正確に作図できるよう努力していきます。



【間宮さん】
高校の実習では経験してこなかった、弓のこやヤスリを用いた仕上げ作業に加え、PCを使った Excel・Word の作成を通して、専門知識と技能を学ぶことができました。今後も幅広い分野を積極的に学び、現場の中心となる人材を目指していきます。



【本田さん】
高校生活では学ぶ機会がなかったトヨタ生産方式や、ヤスリ・弓のこを用いた技能を学びました。また、学科・実技訓練の予習や学んだ内容を簡潔に整理することを意識し、理解を深めながら取り組むことができました。

昼食（工場食堂）のコメント



【崎山さん】
工場にある食堂は広く、いつもきれいです。麺類からごはん物まで種類が豊富で、自由に組み合わせることができ、飽きることはありません。また、日替わりメニューもあり、昼食が楽しみで訓練にも全力で取り組むことができます。

13:00～ 学科・実技訓練



15:50～ スピーチ訓練・終礼



16:15～ 持久走（心身訓練）



17:00～ 帰寮

スピーチ訓練のコメント



【西さん】

日々の出来事や学んだことをテーマに、1分間スピーチを行っています。人前で話すことで発表力や表現力を高めるとともに、話を聞く姿勢も養っています。人前で話すことは緊張しますが、貴重な経験と捉え、今後も精一杯取り組んでいきます。



【福田さん】

学園でのスピーチ訓練を通して、人前で話すことへのためらいがなくなりました。最初は緊張していましたが、経験を重ねる中で自信を持って話せるようになり、相手に伝わりやすい話し方も意識できるようになりました。

持久走のコメント



【青木さん】

自分はいくらでも性格で、長距離走もあまり得意ではありませんでした。しかし、持久走の練習を重ねる中で「前回より1秒でも速くなりたい」と考えるようになり、次第に前向きに取り組めるようになりました。



【金城さん】

自分は持久力がなく長距離走は得意ではありませんでしたが、日々の持久走に全力で取り組む中で体力が付き、次第に同じペースで走れるようになりました。つらい時もありましたが、仲間や指導員の方の応援を力に、諦めずに取り組んでいきます。

【編集より】

今年度より担当が替わり、木村が編集を担当することになりました。機関紙では、学園生の声をお届けしながら、技能専修学園の魅力を少しでも身近に感じていただけるよう発信していきます。

また、ホームページの「お知らせ」では紙面の都合で掲載できなかった行事の様子や学園生のコメントをたくさん掲載していますので、ぜひ機関紙とあわせてお楽しみください。これからも、機関紙とホームページを通して、皆さまに学園の様子をお届けしていきます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

【ご意見・ご感想はこちらから】



お問合せ先：

株式会社豊田自動織機 技術技能ラーニングセンター
技能専修学園 学園グループ 担当：木村 泰河
〒474-0035 愛知県大府市江端町 3-217
TEL：0562-48-9706 FAX：0562-48-9742
E-MAIL：gakuen@mm.toyota-shokki.co.jp